

作成日 2007/07/23 改定日 2025/12/22

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ボンフロンDEつち主材(櫛引用)

種類:水性フッ素樹脂塗料

製造会社

会社名:ボンフロン株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:CSR室 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5217-5105

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:1111110142612

使用上の制限:用途以外への使用は推奨しない

用途:建築用

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性:

生殖細胞変異原性

:区分2

発がん性

:区分1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

:区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓)

環境に対する有害性:

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、免疫系、腎臓)の障害

注意書き:

安全対策:

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない入しないこと。
- ・ 取扱後はよく手を洗うこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

保管:

- ・ 施錠して保管すること。

廃棄:

- ・ 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分:混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
結晶質シリカ	14808-60-7	30.0～40.0	○	-	-
酸化チタン	13463-67-7	0～5.0	○	-	-
酸化鉄	1309-37-1	0～5.0	○	-	-
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	-	0～0.5	-	-	1種-407
エチレングリコールモノブチルエーテル (ブチルセロソルブ)	111-76-2	0～0.5	○	-	-

補足説明:

- 成分情報／安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号の内容は以下の通りとなります。
 - : 既存
 - R8: R8年4月1日以降(施行予定)
 - R9: R9年4月1日以降(施行予定)

営業上の秘密に該当する物質については範囲での表示をしております。

4. 応急措置

吸入した場合:

- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:

- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合:

- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

- この製品自体は、燃焼しない。
- 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤: 情報なし

火災時の特有の危険有害性:

- 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法:

- 消火作業は、風上から行う。
- 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

- 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置:

- 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
- 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
- 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項:

- 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

- ・ 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
- 二次災害の防止策:
- ・ 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 - ・ 滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
- 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い:
- 技術的対策:
- ・ 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 - ・ 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項:
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 - ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 - ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 - ・ 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 - ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 接触回避:
- ・ 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 衛生対策:
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管:
- 安全な保管条件:
- ・ 施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料:
- ・ 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値、許容濃度:

化学物質	管理濃度		濃度基準		日本産業衛生学会		ACGIH	
	ppm	mg/m ³	8時間	短時間	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
結晶質シリカ						0.03		0.025
酸化チタン(IV)						吸入性粉じん1 総粉じん4		10
酸化鉄						吸入性粉じん1 総粉じん4		5
エチレングリコールモノブチルエーテル(ブチルセロソルブ)							20	97

- 設備対策:
- ・ 吸入を防ぐこと。適切な排気装置を設置すること。吸入の 危険性がある場合、機械的な排気を行うこと。
- 保護具:
- 呼吸用保護具:
- ・ 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具:
- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透 しない材料の手袋を着用する。
- 眼の保護具:
- ・ 取扱いに保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具:
- ・ 必要に応じて適切な保護衣を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色	: 有色
臭い	: わずかに樹脂臭
融点／凝固点	: 情報を有していない
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報を有していない
可燃性	: 情報を有していない
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	: 情報を有していない
引火点	: 情報を有していない
自然発火点	: 情報を有していない
分解温度	: 情報を有していない
pH	: 8.0～8.5
動粘性率	: 情報を有していない
溶解性	: 情報を有していない
n-オクタノール／水分配係数	: 情報を有していない
蒸気圧	: 情報を有していない
密度及び／又は相対密度	: 1.35～1.80
相対ガス密度	: 情報を有していない
粒子特性	: 情報を有していない

10. 安定性及び反応性

- 反応性:

情報なし
- 化学的安定性:

・ 通常の取扱い条件においては安定している。
- 避けるべき条件:

・ 高温を避ける。
- 危険有害な分解生成物:

・ 一酸化炭素などの有害性ガスが発生する場合がある。

11. 有害性情報

- 急性毒性:

情報なし
- 皮膚腐食性／刺激性:

情報なし
- 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性:

情報なし
- 呼吸器感作性:

情報なし
- 皮膚感作性:

情報なし
- 変異原性(生殖細胞変異原性):

区分2
- 発がん性:

区分1A
- 生殖毒性:

情報なし
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露):

情報なし
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露):

区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
区分2(血液系)
- 誤えん有害性:

情報なし

12. 環境影響情報

- 残留性／分解性:

情報なし
- 生態蓄積性:

情報なし
- 土壌中の移動性:

情報なし

オゾン層への有害性:

情報なし

生態毒性:

水生環境有害性 短期(急性)

情報なし

水生環境有害性 長期(慢性)

情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物:
- ・ 廃棄塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
 - ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物等についても、廃棄物の処理及び清浄に関する法規などに関する法律に従って処理を行うか、委託する。
- 汚染容器及び包装:
- ・ 許可を受けた 産業廃棄物 処理業者 と 委託契約 をして 処理する 。
 - ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- ・ 国連番号:該当しない
- 国内規制
- ・ 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 陸上輸送:
- ・ 消防法、道路法に従う。
- 海上輸送
- ・ 船舶安全法に従う。
- 航空輸送
- ・ 航空法に従う。

15. 適用法令

- 使用において、都道府県条例に該当の場合、条例にもとづき取り扱うこと。
- 労働安全衛生法
- ・ がん原生物質(労働安全衛生規則第577条の2第3項)

物質名CASNO

結晶質シリカ14808-60-7
 - ・ 57条の2通知対象物質
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律:
- 化学物質管理促進法:
- ・ 第1種

16. その他の情報

- 引用文献:
- ・ 原材料用物質データベース日本塗料工業会
 - ・ 溶剤ポケットブックオーム社
 - ・ 危険防災救急便覧
 - ・ 国際化学物質安全カード(ICSC)
- その他:
- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の取扱いを対象としたものです。
 - ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
 - ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
 - ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませので、当該自治体の規制に従って対処してください。

- ・ 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」を示しています。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。
- ・ 2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。